



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本上下水道設計株式会社

コード番号 2325 URL <http://www.njs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 雅亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 坂井 貴彦

TEL 03-5269-4321

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	11,242	10.9	1,253	368.4	1,280	297.8	736	486.1
25年12月期第3四半期	10,134	9.2	267	△70.0	321	△65.6	125	△73.2

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 786百万円 (84.5%) 25年12月期第3四半期 426百万円 (△34.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	75.60	—
25年12月期第3四半期	12.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年12月期第3四半期	23,242		16,315		70.2	1,673.77
25年12月期	21,705		15,436		71.1	1,583.56

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 16,315百万円 25年12月期 15,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年12月期	—	20.00	—		
26年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	△2.4	1,120	28.3	1,170	21.2	670	30.5	68.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	10,048,000 株	25年12月期	10,048,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	300,078 株	25年12月期	300,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	9,747,964 株	25年12月期3Q	9,747,994 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策の効果などにより設備投資の増加や雇用情勢の改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

「水と環境のコンサルタント業界」を取り巻く経営環境は、顧客ニーズの高度化や低コスト化の要請を受け企業間競争が熾烈になるなど依然として厳しい状況が続いておりますが、震災復興関連事業や国土強靱化計画に関連した防災・減災対策や老朽化した社会資本の改築・更新業務等のインフラ整備事業の増加により、堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、海外業務で大型案件を相次ぎ受注したことなどにより受注高は15,526百万円（前年同期比27.4%増）と大幅に増加しました。連結売上高は、前期からの繰越業務を順調に売上計上したことなどにより11,242百万円（同10.9%増）となりました。

利益面では、国内業務において売上高が増加したことに加え売上原価の削減に努めたことや、海外業務において未成業務支出金評価損計上額が減少したことなどにより、営業利益は1,253百万円（同368.4%増）、経常利益は1,280百万円（同297.8%増）、四半期純利益は736百万円（同486.1%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(国内業務)

国内業務におきましては、社会インフラの災害対策や施設の老朽化対策の必要性が高まる状況にあって、当社グループは上下水道事業における「防災・減災・事業継続計画（BCP）」、「アセットマネジメント・施設の改築更新」、「環境・エネルギー」、「経営健全化に向けた事業支援」及び「情報システム」の5課題を重点営業課題に設定し、総合的な技術力を生かした様々なコンサルティングサービスを提供してまいりました。

この結果、受注高は9,276百万円（前年同期比8.9%増）、売上高は8,447百万円（同20.8%増）、営業利益は1,515百万円（同76.0%増）となりました。

(海外業務)

海外業務におきましては、新興国や途上国においてインフラ整備事業の需要が引き続き堅調で、イラク、インド、バングラデシュ、カンボジア、パプアニューギニアなどにおいて大型案件を受注しました。

この結果、受注高は6,250百万円（前年同期比70.2%増）と大幅に伸長しました。売上高は2,718百万円（同11.3%減）、利益面では未成業務支出金評価損や貸倒引当金の計上などにより282百万円の営業損失（前年同期は営業損失639百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,269百万円増加し23,242百万円となりました。この主な要因は、流動資産の現金及び預金の増加2,099百万円、受取手形及び完成業務未収入金の減少816百万円等であります。

負債は、未成業務受入金金の増加等により前連結会計年度末と比較して1,873百万円増加し6,926百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比較して396百万円増加し16,315百万円となりました。この結果、自己資本比率は70.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

利益面については、当第3四半期において通期連結業績予想数値を超過しておりますが、これは業績の季節的変動で、上半期に完了案件が集中したことなどによるものであるため、平成26年2月13日公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,861,132	9,960,293
受取手形及び完成業務未収入金	1,331,119	514,903
未成業務支出金	3,876,846	4,423,231
その他	1,089,138	1,447,263
貸倒引当金	△16,609	△25,230
流動資産合計	14,141,627	16,320,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,229,933	1,187,587
土地	1,326,543	1,326,543
その他(純額)	61,202	56,061
有形固定資産合計	2,617,680	2,570,193
無形固定資産	107,028	110,554
投資その他の資産		
投資有価証券	2,229,284	2,298,671
その他	1,876,829	1,984,355
貸倒引当金	—	△42,106
投資その他の資産合計	4,106,113	4,240,920
固定資産合計	6,830,822	6,921,667
資産合計	20,972,449	23,242,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	513,798	299,961
未払法人税等	371,189	542,032
未成業務受入金	1,703,981	3,552,017
賞与引当金	369,403	681,426
受注損失引当金	82,086	87,568
その他	801,111	521,992
流動負債合計	3,841,572	5,684,999
固定負債		
退職給付引当金	1,091,801	1,127,827
その他	119,601	113,564
固定負債合計	1,211,402	1,241,391
負債合計	5,052,975	6,926,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,000	520,000
資本剰余金	300,120	300,120
利益剰余金	14,991,745	15,338,724
自己株式	△398,979	△399,044
株主資本合計	15,412,885	15,759,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	519,875	564,794
為替換算調整勘定	△13,286	△8,856
その他の包括利益累計額合計	506,588	555,937
純資産合計	15,919,474	16,315,738
負債純資産合計	20,972,449	23,242,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,134,363	11,242,526
売上原価	7,696,918	7,444,058
売上総利益	2,437,444	3,798,468
販売費及び一般管理費	2,169,837	2,544,881
営業利益	267,607	1,253,587
営業外収益		
受取利息	11,049	15,547
受取配当金	16,107	17,387
為替差益	16,083	—
その他	11,151	10,382
営業外収益合計	54,392	43,316
営業外費用		
為替差損	—	16,134
営業外費用合計	—	16,134
経常利益	321,999	1,280,769
特別利益		
国庫補助金	31,383	—
特別利益合計	31,383	—
特別損失		
固定資産除売却損	368	387
固定資産圧縮損	31,383	—
損害賠償金	38,747	—
特別損失合計	70,498	387
税金等調整前四半期純利益	282,884	1,280,381
法人税、住民税及び事業税	421,961	774,480
法人税等調整額	△264,795	△230,996
法人税等合計	157,165	543,484
少数株主損益調整前四半期純利益	125,718	736,897
四半期純利益	125,718	736,897

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	125,718	736,897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	291,566	44,919
為替換算調整勘定	8,749	4,429
その他の包括利益合計	300,316	49,349
四半期包括利益	426,035	786,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426,035	786,246
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,985,728	3,063,689	10,049,418	84,945	10,134,363	—	10,134,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,222	530	6,752	—	6,752	△6,752	—
計	6,991,950	3,064,219	10,056,170	84,945	10,141,115	△6,752	10,134,363
セグメント利益又は セグメント損失(△)	860,938	△639,643	221,295	39,167	260,463	7,143	267,607

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,447,598	2,718,037	11,165,635	76,890	11,242,526	—	11,242,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	850	984	—	984	△984	—
計	8,447,732	2,718,887	11,166,619	76,890	11,243,510	△984	11,242,526
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,515,226	△282,940	1,232,286	32,932	1,265,218	△11,631	1,253,587

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。